



「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成26年11月号
国民生活産業・消費者団体連合会

東京都帰宅困難対策説明会に参加しました

10月16日、東京ビッグサイトにおいて東京都帰宅困難者対策説明会が開催され、事務局が参加しました。

東京都はこれまでに都立施設200箇所を一時滞在施設として指定しましたが、まだ不足しています。本説明会は平成25年4月1日に施行された都帰宅困難者対策条例に沿って、都の取り組みや事業者に求められる対応、協力が必要な事柄などについて理解を深めてもらうことを目的に開催され、多数の事業者らが参加しました。

説明会ではまず総合防災部の森永課長から、東日本大震災当時のテレビ映像を交えつつ、自分の身を守ることの大切さや、首都直下地震の際に起こりうる群集雪崩や火災などの二次災害の恐ろしさ、なぜむやみに移動を開始してはいけないのかなど、大変わかりやすいお話がありました。続いて、都のアドバイザーをつとめる川村様から、一時滞在施設など実践的な帰宅困難者対策についてのご説明がありました。



※東京都が取り組む帰宅困難者対策の詳細につきましては、下記ホームページをご参照ください。

URL: www.bousai.metro.tokyo.jp/kitaku_portal

または

東京都 帰宅困難

で検索



東京都総務局総合防災部 事業調整担当課長
森永 健二 様



東京都一時滞在施設開設アドバイザー
(株)シーエーシー 川村 丹美 様

生団連は清水信次会長(株)ライフコーポレーション会長の発案で設立、「国民の生活・生命を守る」ことを使命とする団体です。会員は500超の企業、業界団体、消費者団体から構成され、日本の直面する諸課題解決に向け生活者視点で取り組んでいます。

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 清水(栄)／宮田 ☎:03-3662-5240 ✉: jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>

定例勉強会開催 ～衆議院議員、自由民主党副幹事長 桜田 義孝 先生～

10月17日、憲政記念館にて国際経済研究所との共催で定例勉強会を開催しました。今回は講師に衆議院議員・自由民主党副幹事長の桜田義孝先生をお招きしました。

桜田先生は昨年の9月に文部科学副大臣に任命され、今年の9月の内閣改造に伴い、自由民主党副幹事長の要職に就かれました。これまで科学・学術・スポーツ分野に関する政策課題の実現、道州制や憲法改正などの問題に取り組んでこられました。今回は「日本の文部科学行政のあり方」というテーマでご講演いただきました。

桜田先生のお話はまず、日本の教育において大きな転換期となった第二次世界大戦からの教育の流れについてから始まりました。当時の事例を踏まえて、正しい知識を国民に持たせる教育の必要性、そして正しい知識を正しく伝えるメディアの重要性を訴えられました。国民が教育により正しい知識と認識を持つことが日本が間違った方向に進まないためにも必要であり、そのことはこれからの民主主義においてますます重要になってくるであろうとのことでした。

また現代の教育についても、道徳教育や家族関係の重要性についても述べられました。特に家族がお互いに良く知り、触れ合うことの大切さを訴えられました。

そして東京夏季オリンピック・パラリンピック組織委員会副会長として関わられた2020年の東京オリンピックについて、日本がデフレ経済から脱却して、再び経済成長をするきっかけになると力説されました。

桜田先生の多彩な知識とわかりやすいお話に、参加者はみな熱心に耳を傾けておられました。



桜田 義孝 先生

廃棄物のリサイクルに関して欧州の現状を調査

当連合会では、2014年7月より「廃棄物リサイクル分科会」を設置し、リサイクルに関わる『知らないこと』を勉強し、合理的・効率的な廃棄物リサイクルの在り方について調査・研究を行っております。その一環として、欧州（ドイツ・ベルギー・オランダ）の廃棄物リサイクルの現状を調査いたしました。

各国では、EU指令に基づき、独自に廃棄物リサイクルシステムを運用しております。その国々の状況に合った仕組みを構築することで、合理的なリサイクルを進めることが出来るのではないかと思います。

【ヒアリングの様子】



【EU指令に基づいた分別の様子】

・ペットボトル回収圧縮機 ・圧縮されたペットボトル



・分別ゴミ箱（ドイツ）
プラ・缶など



ガラス瓶

